

題字 小学部 小野塚 心晴

わゆるのせ

十日町市立ふれあいの丘支援学校
令和7年1月31日発行 vol.9

令和5年度「いじめ見逃しゼロ標語・ポスター」金賞受賞小学部共同作品

地域の伝統行事を体験しました!!



二見屋菓子店でチンコロと大判焼きを買いました。支払いも体験しました!



色とりどりのチンコロがとてもきれいでした。どれにしようか迷いました。



どんど焼き(さいの神)をしました。みんなで燃え盛る炎を見ました!

中学部 理科センターの先生と実験をしました!



2025年が始まり、早いものでもう1ヶ月が経とうとしています。本格的な冬を迎え、校舎の周りにも雪が積もり、スキーやスノーシューなどの雪上活動もスタートしております。

小学部は、地域の伝統行事に触れる体験を行いました。14日(火)には、地域のお店に歩いて行き、十日町伝統のチンコロと大判焼きを購入する校外学習を行いました。色とりどりのチンコロの中から好きな物を選び、自分で支払いをし、購入しました。17日(金)には、ふれあいグラウンドでどんど焼きを行いました。ボランティアで来られた田口先生から、どんど焼きや小正月について教えてもらいました。

中学部は、23日(木)に十日町市立理科センターの喜多先生から来ていただき、今年度、5回目の理科学習を行いました。今回は、ホッカイロの仕組みについて学びました。ホッカイロが温まる仕組みについて話を聞き、実際に金属(スチールウール)が燃焼する様子を観察しました。実際の体験を通して学ぶ時間となっており、目を輝かせながら実験に取り組むなど、興味関心をもち意欲的に取り組む生徒の姿が見られました。



相手のことを正しく知り、 自分ごととして関わりを考える

～ 同世代間交流に取り組んだ子どもたちの学び ～

校長 上松 武

昨年度、本校の保護者が他校の保護者の心無い発言を聞き、相談してくださいました。学校運営協議会等で話題にしたところ、本校の子どもたちを知らないことや、関わったことがないことが背景にあるだろうというご示唆をいただきました。

そこで、今年度から新たに「同世代間交流」に取り組み始め、4小学校と1中学校と年に1回～2回実施することができました。ここで、A校との交流活動を紹介します。子どもたちが試行錯誤しながらも、正しく相手を知り、関わるようになったプロセスはとても参考になります。



□目的 相手を知り、あたたかい関わり方をする力を高めること

□内容 4年生 総合的な学習の時間の「福祉」

□学習活動

①事前学習 ※福祉施設の見学や体験学習を実施。

・ふれあいの児童とは関わったことがないため、不安や緊張感と楽しみな気持ちが混在。

②1回目の交流活動(上の写真)

・「もっと自分から誘えばよかった」「緊張して上手く話せなかった」など上手くいかなかった。

・前回よりよい関わりをしたいし、相手が喜んでくれたら更に嬉しい。そのために、自分から話しかけたり、相手の反応をよく見たり、相手が好きなことや得意なことに合わせることを意識して2回目に取り組んだ。

③2回目の交流活動(下の写真)

・「自分から話しかけられた」「クイズの答えを一緒に考えられた」など自分の関わり方の変容に気付いた。

・「手話ダンスの練習の時に楽しそうでした嬉しかった」など相手の反応にも気付く感想が多くあった。

・自分の関わり方が変わることで、相手の反応が変わったりお互い心地よい時間を過ごせた。

④事後学習

◎相手が喜びそうなことや自分たちが楽しいと思っていることは、相手にとっては違うことであり、相手目線に立って関わることの難しさに直面した。

◎その一方で、相手を知ることで話やすくなったり、関わりやすくなったり、相手の気持ちを想像しやすくなったりする経験ができた。

◎知ろうとすることが、あたたかい関わりへの第一歩だという学びがあった。



同世代間交流を通して、A校の子どもたちは「〇〇さんとどうしたら上手く関わられるだろうか」と考えるようになりました。このように「自分ごと」として考えることが今と将来の不幸を生まないこととなります。正しく知り、憶測でものを言わないようになります。

十日町小と本校のように、日常的な関わりが可能となる環境がどこの学校にも備わっていることが望ましいと思います。しかし、年に1～2回の交流活動でも、正しく知る機会があり、「自分ごと」として考え実行する機会があるだけで、心無い発言で傷つく人がなくなり、傷つける人がいなくなっていくという確かな手応えを感じました。

保健の窓

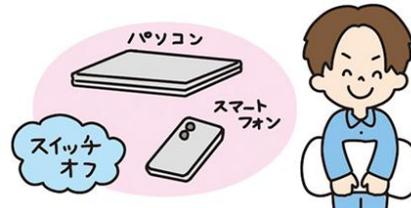
全国的にインフルエンザが流行っていますが、本校は今日現在、インフルエンザにかかっている人はいません。今後も引き続き、手洗い・うがい・換気・適切な湿度・バランスの良い食事・睡眠などの予防対策をお願いします。また、朝の健康観察（必要に応じて検温も）を十分に行っていただくようお願いします。

よく眠るために

- 寝る部屋は暗くする



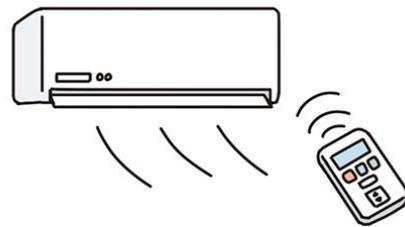
- 寝る直前までスマートフォンやパソコンを見ない



- 寝る前は、その日にあったいいことを思い出す



- 寝る部屋の温度を調節する
(冬は19~22℃、夏は23~26℃ぐらい)



- 自分に合う寝具
(布団やまくら) を使う



- 着心地がいいパジャマを着る



お知らせ

第3回フッ化物歯面塗布が2月12日(水)13:00にあります。
対象は、1学期の希望調査で、塗布を希望した児童生徒です。その際に希望したが3回目は希望しない場合は、連絡帳等でお知らせください。

今後の予定

2月の予定

3	月	外国語活動
4	火	豆まきお楽しみ会(小学部)
6	木	邦楽の調べに親しむ会 和装体験(中学部3年生)
11	火	建国記念の日
13	木	スノースポーツ体験学習(中学部)
14	金	入学説明会
18	火	全校朝会
20	木	スノーチュービング(小学部)
21	金	学習参観・各種懇談会
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	個別懇談週間~3/3

お知らせ

日頃の感謝を込めて!

本校の教育活動に対して、長年に渡り多大なご支援をいただいている「十日町ライオンズクラブ」様に、感謝の気持ちを表したいということで、十日町ライオンズクラブ様のマークを缶バッジのデザインにして製作し、この程完成して贈呈いたしました。

1月15日(水)に、中学部生徒2名が代表として贈呈式に出席しました。毎年恒例の「豆まき集会」にはバッジを身に付けて来てくれるそうです。

これからも変わらぬご支援、よろしく願いいたします。



雪上活動に取り組んでいます!



小学部は、グラウンド等でクロスカントリースキー、中学部は、スノーシューを履き、ふれあいグラウンドやピュアランドを歩いたり、登ったりしています。雪国ならではの冬の活動に子どもたちはとても前向きに取り組んでいます。今後は、雪上運動会も計画されているようです。



いじめ見逃しゼロ 県民運動



十日町市立ふれあいの丘支援学校

〒948-0022 新潟県十日町市学校町1丁目614番地32

TEL 025-752-7471 FAX 025-752-7472

✉ fureainooka-tk@edu.city.tokamachi.niigata.jp

